

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 第2委員会室 担当職員 三宅
日 時	平成25年2月20日(水曜日)	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午後 12 時 02 分
出席委員	菱田 福井 井上 馬場 藤本 湊 小島 西口		
出席理事者	船越産業観光部長、山田産業観光部理事、人見ものづくり産業課長 高屋まちづくり推進部長、古林まちづくり推進部理事、森都市計画課長、山内都市計画課計画係長		
出席事務局	三宅		
傍聴者	市民 1名	報道関係者 名	議員 名

会 議 の 概 要

10:00

1 開会

<菱田委員長あいさつ>

2点報告する。

- ・京都農業共済組合理事の選出に係り、4月1日から京都府内4組合が1組合に合併されることとなり、本市4人の選出枠が2人に変更される。これまで4人の選出枠のうち議会からは2人を選出されてきたが、今後は議会からは選出しないことと調整されたので、了解願う。
- ・河原林営農組合が、100%農家加入の農事組合法人として法人化された。

<事務局日程説明>

2 亀岡市観光協会の現在の事業展開状況と今後の方向性、課題について (亀岡市観光協会参考人意見聴取)

[参考人入室(亀岡市観光協会内藤会長及び栗山事務局長)]

<菱田委員長>

本市の観光施策の調査研究に関し、観光協会の事業展開状況、今後の方向性、課題について、観光協会としての意見を聴取したい。まず会長よりあいさつをいただき、引き続き、事務局長より資料の説明を願う。

<内藤会長>

亀山城築城400年を機に、城下町として着実に観光振興が進んでいる。また、にそとの開通をはじめ様々なネットワークが整備されることにより、今後の展開に大いに期待される場所である。今後とも支援願いたい。

<栗山事務局長 資料に基づき説明>

~ 10:28

<菱田委員長>

委員からの質疑はないか。

< 藤本委員 >

今後、大規模スポーツ施設の建設に係り、観光誘客を図るPR戦略についての所見は。

花の観光イベント等のPRに係り、インターネットを活用した動画配信はどうか。

< 内藤会長 >

スポーツ観光の位置付けとして、大規模スポーツ施設近郊の方向性をもつことは重要であるが、やはり築城400年を機に、歴史を核とした城下町の観光振興にしっかりと取り組んでいくことが一番大切であると考えている。それぞれの地域の商店街に呼びかけをしながら、さらに商店街の活性化にも取り組んでいかなければならない。

< 栗山事務局長 >

大きな駐車場の設置が予定される。京都市街の駐車場は満杯の状態であるので、亀岡から京都へ行っていただくパークアンドライド的な活用として、買物や飲食ができる駐車場周辺整備により、うまく活性化していければと思っている。

コスモスをはじめ、できる限り花の開花状況や見頃のPR配信に努めている。ききょうの里など各実行団体にも呼びかけながら、しっかりと発信していきたい。

< 馬場委員 >

京都からトロッコ電車で亀岡に来て、保津川下りにより嵐山で泊まるという流れを逆に変え、先に保津川下りをしてトロッコ電車で亀岡に戻ってきて、亀岡でどのように展開できるか、そのあたりの考えは。

市内に点在する観光スポットについて、ネットワークを結ぶとともに、車を止めて徒歩で回れるところや城下町のように全て徒歩で回れるところなど、ゾーン分けした観光発信が必要と考えるがどうか。

紅葉の名所づくりに関し、市内には出雲大神宮など他市に誇れる名所があり、そういった市内のスポットをきめ細やかに紹介すれば多くの観客が見込める。また、市民にも浸透させていく必要があると考えるがどうか。

< 栗山事務局長 >

これまでからの大きな懸案である。京阪神旅行会社を対象とした観光誘致プロモーションツアーを実施したのも、そこを何とかしたいという思いからである。へき亭での食事、明智ミュージアム、京馬車など大変好評であった。亀岡で歯止めができるようなことを真剣に考えないと亀岡にお金が落ちない。今後もプロモーションツアー等により、企画提案していかなければならないと考えている。

市内の観光スポットは点在しているが、駅から徒歩で回れるコースを案内する場合は、亀山城址やその城下町に限られる。観光タクシーがあり、また自家用車での観光向けにネットでの観光ナビの配信や各種観光パンフレットを作成している。

紅葉に関して市内に多くのスポットがある。京都市内はライトアップにより華やかに演出しているが、亀岡は素朴なライトアップにより誘客を図れる。紅葉等の名所づくりを中長期計画として立てており、取り組みを進めている。

< 井上委員 >

観光消費額の増加を図るためには、宿泊施設の整備が肝要である。本市には、湯の花温泉や市街地にビジネスホテルが2件あるが、どこの都市でも駅前には5000円前後で素泊まりできるビジネスホテルがある。本市にも中間的な宿泊施設が必要である。特に外国人観光客は和に触れたいことから、町家を改装したシェアハウスのような施設やグループで安価で宿泊できる施設を提案する。また市街

地から少し離れていても、レンタサイクルを導入し、古民家等を宿泊施設として利用できるようなことも提案したい。

ホテルを観光資源として観光振興できないか。

<内藤会長>

亀岡は商人家が多くあったが、ほとんどなくなり寂しくなった。宿泊施設に関しては民間活力に頼らざるを得ない状況である。また、先ほどの馬場委員の意見について、亀岡にはいたる所に史跡があり宝の山である。名所めぐりは人気がある。紅葉観光も含め、スケールは小さくても時節にマッチしたツアーを組み込んでいく必要がある。

<栗山事務局長>

レンタサイクルについては、2・3年前まで亀岡駅前でふるさと亀岡ガイドの会で事業を行っていたが、需要と供給のバランスがうまくいかず、現在は休止されている。城下町にも観光案内所ができたことから、今後、レンタサイクルを有効活用していくべきと考えている。亀岡駅前の駐輪場での保管による駐輪費用と利用の関係がうまくいかないと聞いており、実施主体を含め検討していきたい。ホテルについては、観光協会にも問い合わせが多くある。案内はしているが、それを観光とどのように結び付けるのか、今後の検討課題である。

<湊委員>

旅行会社への企画提案に係り、どのように収益をあげるのかが課題である。当常任委員会では、平成23年度に岡山県真庭市を視察し、観光協会が運営しているバイオマスツアーに参加した。バイオマスの関連施設等の見学が主な内容であるが、全国の行政関係者や民間企業の研修等で多くの参加がある。このような企画も参考にしていきたい。

やはり予算がないと事業展開が進まない。観光に係る市の予算配分が少ないことから、決算特別委員会では、昨年度予算の決算認定に係り、観光推進のための増額配分を指摘要望した。観光協会として事業を行う上で予算確保等の考え方について意見を求めたい。

<内藤会長>

色々な事業展開が必要であるが、やはり光秀の城下町として観光振興することが一番求められている。観光協会の事業としては、春の光秀まつりが一番集客力のあるイベントである。多くの市民参加があるが、行列の時代衣装に一貫性がなく、貸衣装の経費が高いことから、今後、手作り甲冑をより一層制作できるよう、手作り甲冑教室を開き、備品として光秀まつりに使っていきたい。そのための予算配分や補助金要求を検討していきたい。また、光秀に関わっては、城下町内外で意識の差があると感じており、亀岡市民として光秀を顕彰していこうという気運を盛り上げ、城下町の整備等で課題が多いが、時代背景の演出をしていくことが必要と考えている。

<栗山事務局長>

観光協会全体としては、3800万円の年間予算であり、そのうち会員収入は400万円、市からの補助金は2714万円であり、そのうち約1500万円を人件費等の運営費に充てている。その他、事務所の維持管理などの費用があるが、一番大事な観光推進に係る事業費に500万円充てており、その中でPR活動等に努めているのが実態である。市の財政も厳しい中、観光協会として自主財源を如何に獲得していくのかが大きな課題である。

<西口委員>

昨年の保津の火祭りでは、バスにより遠方からグループで見学に来られた。理由をきくとホームページを見て来たとのことであった。ホームページの発信のしかたによるが、その効果は大変大きい。

かわまちづくりに係り桜並木や千本松の取り組みを行っているが、四季折々に親しめるよう、紅葉の回廊をつくれなにかとと思っているがどうか。

<内藤会長>

かわまちづくりでは、桜、紅葉と交互に7メートル間隔で植樹されると聞いているが、それはおかしいと疑問に思っている。桜は桜並木として、紅葉はスポットとしてあるべきと考える。観光協会では根尾の淡墨桜の苗木を20本いただいた経過がある。桜並木もさることながら、そこにスポットとして根尾の淡墨桜とネーミングの札をつけていくような仕組みづくりを願いたい。

<菱田委員長>

3月定例会では次年度の予算審議がある。本日の意見聴取を踏まえ、今後の審議に生かしていきたい。

[参考人退室]

~ 11 : 10

[理事者入室(産業観光部)]

3 ものづくり産業振興ビジョンについて(行政報告)

<産業観光部長あいさつ>

先月の常任委員会月例開催では、主に財団法人中小企業総合研究機構からの研究報告について行政報告を行った。ビジョン策定委員会や検討会議を重ね、策定案ができたので、今回はその概要について報告し、意見を求めたい。

<ものづくり産業課長、資料に基づき説明>

~ 11 : 32

[質疑]

<菱田委員長>

今後のスケジュールについて説明を。

<ものづくり産業課長>

中間案についてのパブコメを2月15日から3月14日まで募集し、それを集約して、3月25日に最終の策定委員会を開催し意見調整のうえ、ビジョンの確定を行いたいと考えている。平成25年度からビジョンをスタートできるよう取り組んでいる。

4 観光施策について

<菱田委員長>

先ほどの観光協会の意見聴取を踏まえ、理事者と意見交換を行いたい。各委員の意見を。

<湊委員>

観光協会の活動を活発化させることにより、本市の観光施策が活性化する。観光が発展することにより金がおち、税収増を見込めるため、その点で、観光協会への補助金を増額することで、人員を確保するなり幅広い活動を行える体制づくりを支援できないだろうか。

<観光戦略課長>

現在、事務局4名の職員で事業を運営している。また緊急雇用対策事業の委託先として観光協会にお世話になっており、雇用による人員確保により各種事業を行っている実態である。ただし観光PRを含めた実質的な活動にはつながらず、増員も含め検討していかなければならないと考えているが、平成25年度予算においては今年度と同程度の規模を見込んでいる。

< 藤本委員 >

ホームページの運営管理の主体は市が行っているのか、観光協会が独自に行っているのか。

< 観光戦略課長 >

市、観光協会とそれぞれホームページを公開しているが、市については基本的な観光についての案内を行っている程度であり、実際の観光案内については観光協会にお世話になっている状況である。観光協会のホームページ作成、更新についてもすべて補助金をだしている。ただしスマートフォン対応ができていない現状である。他市では京都市、南丹市で対応しており、本市も25年度に対応していきたいと考えており、当初予算で審議願いたい。日々の更新作業についても全て観光協会が行っている。

[理事者退室]

~ 11 : 40

5 都市計画道路の変更について（行政報告）

[理事者入室（まちづくり推進部）]

< まちづくり推進部長あいさつ >

本市では、昭和34年当時の当初決定を中心に街路網を構成していたが、京都府では平成18年度に街路網の抜本的な見直しに係る内容の方向性を示され、関係機関協議を行ってきた。3年程かかってしまったが、ようやく下調整ができたので、街路網の抜本的な見直しの原案を3月22日から24日の3日間で市民への説明を行うよう事務を進めている。その内容について事前に報告しておきたい。

< 都市計画課長、資料に基づきパワーポイントで説明 >

~ 12 : 00

[質疑] なし

[理事者退室]

6 その他

< 菱田委員長 >

今回は3月1日に新たな委員構成で開催される。

1年間お世話になり感謝申し上げます。

~ 12 : 02